

第56回 在宅ケアネット渋川 講演会レポート

【日時】 9月9日(木) 19:00～20:00 【会場】 ほっとプラザ4階/Web

(演題) 『若年性認知症の母と生きる』

(講師) フリーアナウンサー 岩佐 まり 氏



介護は

自分の人生とともに歩む

介護の手助けになった、または
手助けになりそうな制度など
(講演資料より抜粋)

①

介護保険外の制度・サービスの利用

- 障害年金 病気・怪我の初診日が65歳未満であること
- 自立支援医療 精神科の医療費が1割負担
- 障害者手帳による医療費助成(福祉医療制度) 保険適用分の医療費が無料
- 特別障害者手当 月27,350円
- 高齢者在宅福祉サービス (介護保険外)紙おむつ・訪問理美容助成等
- 生命保険の高度障害 重度の認知症は高度障害となる場合がある

②

家族会

- 1月 ボーリング大会
- 2月 ちらし寿司作り
- 3月 春の遠足 水族館
- 4月 音楽鑑賞 家族懇談
- 5月 公園散策
- 6月 ハンドベル鑑賞 家族懇談
- 7月 ゲーム・音楽鑑賞 家族懇談
- 8月 フラダンス鑑賞 家族懇談
- 9月 秋の遠足 江の島

会場参加者 内訳

職 種	人数(人)
医師、歯科医師、薬剤師	6
PT/OT/ST	2
ソーシャルワーカー/相談員	5
事務(行政含む)/その他	5
合計	18

Web参加者 内訳

事業所分類	アクセス数
医療機関、歯科診療所、薬局	17
居宅介護支援事業所	2
訪問看護・訪問介護事業所	3
特別養護老人ホーム	2
行政・その他	5
合計	29

※1ヶ所で複数名参加の場合あり

渋川地域では認知症に関する研修・講演をたびたび行っていますが、「認知症当事者家族からの話」というのは聞く機会がなかったため、今回、フリーアナウンサーの岩佐さんに講演をお願いする運びとなりました。講師もオンラインでの参加となったため、なかなか熱意が伝わりづらいかと思いましたが、さすがフリーアナウンサー。とても聞きやすい、説得力のある講演となりました。「家族は(制度を)知らないです。何が必要なのかも分からない」といった言葉は本当に重みがありました。

【参加者の感想 (一部抜粋)】

☆講演を通じて、認知症の家族を在宅で介護する家族のさまざまな心の葛藤や御苦労が手に取るように理解することが出来ました。又、病状の変化に伴い、デイサービスやショートステイの利用、ケアマネとの関わりなどは同じ介護で苦しんでいる方にとっても、参考になると思いました。

【参加者の感想 (一部抜粋)】

☆介護をしていくために必要な制度を広めてほしいというお話、まったくその通りだと思います。薬局でも介護認定すら知らずに、介護をしているご家族に会うことがあります。(中略) ご講演では、良いケアマネージャーとの出会いがあったとお聞きしましたが、かかわった医療職、介護職によって介護される方、そのご家族の生活に大きな差が出てしまうのでは残念でなりません。

☆介護認定が現状より軽く出てしまうことは自分の親でも経験していて、区分変更申請などがわからないと不利益が大きいと思う。支援者として何気ないコミュニケーションをとりながら、必要な支援を提供、アドバイス出来るような視点を忘れないようにしたい。

☆自分が見るんだと頑張りすぎていた岩佐さんに息抜きを提案したケアマネのように適切に助言できるよう学んでいきたいです。